



○老齡基礎年金受給者

※全ての要件を満たすかたのみ

○障害基礎年金・遺族基礎年金受給者

要件 前年の所得額が約492万円以下

請求手続き

○年金を受給しはじめるかたは、年金の請求手続きと併せて年金事務所または役場で請求手続きをしてください。

給付金専用ダイヤル

■0570-05-4092 (ナビダイヤル)

問合せ 太田年金事務所 ☎49-3716

【事例】

【ひとこと助言】

害虫駆除サービスの作業内容や料金は、害虫の発生原因や状況などによってさまざまになることが

クーリング・オフができる場合があります。困ったときは消費生活センターへご相談ください。

相談は消費生活センターまで ■82-7830 (ナヤミナシ)

休日当番医

◆緊急 公立館林厚生病院（内科系・外科系） ■0570-02-1114
◆夜間 館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後7時～10時（日・祝・年末年始除く）
■73-2313（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前9時～午後5時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前9時～午後1時） ●内科系の※は、小児科のみとなります。



田村歌容さん

たむら うたよ
細谷在住

国際交流協会に所属し、東部公民館で行われる日本語教室には指導助手として参加するそうです。また、南部公民館で活動している板倉短歌会にも所属しているとのこと。

自らの手でリノベーション

「みんなが集まれる、遊べる場所を作りたい」と話す田村さん。築70年以上の夫の生家を志を共にする仲間と一緒にリノベーションし、シェアスペースの完成を目指しています。活動は令和4年3月にスタートし、今までに友人とその家族など、3歳から75歳まで幅広い年代が参加しました。建築資材を扱っているかたの指導の下、これまでに床の張り替えや壁の漆喰塗り、カウンター作りを行ったそうです。「壁の漆喰塗りを手伝ってくれた子どもたちには、後々自分が塗った壁を見て来てほしいですね」と笑顔で話してくれました。

地域の協力に感謝

リノベーションの作業はSNSで仲間に「今度、こんなことをするよ」と呼び掛け、都合がつく人が集まって行っています。参加者が多いときには、近くにあ



レポーター
広報編集委員
こじま しげお
小島重雄

築70年以上の家をリノベーション
ふらっと遊びに来てもらえる
シェアスペースに

る企業の駐車場を貸してもらうなど「地域のみんなにも協力してもらって進めている」と言います。まだまだリノベーションの途中とのことですが、みそ造りや旧北小桜まつりの打ち上げを行ったそうです。また、ご近所のかたから臼ときねをいただいたそうで「今年の冬にはみんなで臼ときねでの餅つきをしたい」と話してくれました。

要望を聞きながら

もともと田村さんの家は娘さんの名前から「つむのうち」と呼ばれていました。このシェアスペースも「つむの家」と名付けられ、手作りの素敵な看板が出来ていました。最後に「つむの家」のこれからについて伺うと「ご近所でも顔を合わせる機会が減っている。ふらっと遊びに来てもらえるようなシェアスペースにしたい。私がこうしたいというよりも、みんなと語り合いながら進めていきたい」と話してくれました。